



白洲次郎は東北電力会長時代(1951~1959)、山形蔵王を気に入り、山荘(ヒュッテ・ヤレン)を建てスキーを楽しみました。

半世紀を超えた現在でも、その山荘は色あせることなく蔵王の森の中にはひっそりと佇んでいます。

蔵王を”東洋のサンモリッツにしたい”という彼の”夢”は、経済一辺倒の前に実現出来ませんでした。その”夢”を一步步実現したいという仲間が集まり、ヒュッテ・ヤレン(現三宅山荘)を保存・活用しようと立ち上がりました。

夢の実現のため活動してきた2年間を振り返り、応援して下さった仙台の皆様へ報告したいと思い、今回のフォーラムを企画しました。

【仙台フォーラム】

- 期 日:2013年8月17日(土)
- 時 間:13:30~16:30
(受付13:00~)
- 場 所:東北大学さくらホール
- 費 用:¥1,000-(資料代)
- 定 員:50名

白洲次郎と蔵王スキー場

「東洋のサンモリッツ」にしたかった本当の理由とは？



<プログラム>

司会：佐野千晶（元気・まちネット/蔵王プロジェクトMJ）

13：00～13：30 受付

13：30～13：50 ご挨拶：東洋のサンモリッツを目指した白洲次郎とは
加藤 光哉（蔵王ロープウェイ株式会社 常務取締役）

13：50～14：30 山形放送のビデオ紹介と蔵王鎮守の杜構想
矢口 正武（NPO法人元気・まちネット代表理事/蔵王プロジェクトMJ）

14：30～15：20 仙台・次郎倶楽部の活動
早坂 和子（仙台・次郎倶楽部代表）

— 休憩10分 —

15：30～16：30 トークイベント（コーディネーター：佐野千晶）



《テーマ》

- ・なぜ蔵王にヒュッテ・ヤレンを建てたのか？
- ・なぜ蔵王を“東洋のサンモリッツ”にしたかったのか？
- ・日本のスキー場はなぜ衰退したのか？
- ・白洲次郎のプリンス的な生き方

《ゲストコメンテーター》

- ・加藤光哉氏：蔵王ロープウェイ株式会社常務取締役
- ・早坂和子氏：仙台次郎倶楽部代表、和食処“杜都”
- ・早水健祥氏：月刊カフェラテ代表取締役
- ・矢口正武氏：NPO法人元気・まちネット代表

18：00～

懇親会（自由参加／参加費：ひとり¥4,000-）
会場「杜都」仙台市青葉区国分町2-13-11ベルサイユビルB1F
8月10日（土）までにお申し込みください。

開催期日 2013年8月17日（土） 13:30～16:30

場 所 東北大学 片平さくらホール 仙台市青葉区片平二丁目1-1

参加費 ひとり¥1,000-（資料代として）

申し込み 住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、懇親会参加・不参加をお書きのうえ、メールまたはFaxでお申し込み下さい。

Mail: genki-kuma@mc.point.ne.jp Fax: 03-3711-1403 担当: 矢口正武

締め切り 8月10日（土） 但し、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

定 員 50名

主 催	 NPO法人 元気・まちネット	共 催	仙台・次郎倶楽部
	蔵王プロジェクトMJ	後 援	河北新報社

氏 名		性 別		年 齢	
TEL		E-Mail			
住 所	〒			懇親会	参加・不参加